

## ①外国語(英語)コアカリキュラム対応表(一覧)

## 外国語(英語)コアカリキュラム対応表(一覧)

大学名	佐賀大学
学部・学科等名	教育学部共同教員養成課程

## &lt;小学校&gt;

ページ	各科目に含めることが必要な事項	対応授業科目(1)	対応授業科目(2)	対応授業科目(3)
2	教科に関する専門的事項	初等外国語		
3	各教科の指導法	初等外国語指導法Ⅰ		
		初等外国語指導法Ⅱ		

## &lt;中学校&gt;

※「教科に関する専門的事項」は、「一般的包括的科目」のみ記載すること。

ページ	各科目に含めることが必要な事項	対応授業科目(1)	対応授業科目(2)	対応授業科目(3)	対応授業科目(4)
4	英語学	英語音声学			
		英語学			
5	英語文学	英語文学概論			
6	英語コミュニケーション	英語コミュニケーション論			
7	異文化理解	異文化理解			
8	各教科の指導法	中等英語科指導法Ⅰ			
		中等英語科指導法Ⅱ			
		中等英語科指導法Ⅲ			
		中等英語科指導法Ⅳ			

## &lt;高等学校&gt;

ページ	各科目に含めることが必要な事項	対応授業科目(1)	対応授業科目(2)	対応授業科目(3)	対応授業科目(4)
前掲4	英語学	英語音声学			
		英語学			
前掲5	英語文学	英語文学概論			
前掲6	英語コミュニケーション	英語コミュニケーション論			
前掲7	異文化理解	異文化理解			
9	各教科の指導法	中等英語科指導法Ⅰ			
		中等英語科指導法Ⅱ			

## ②外国語(英語)コアカリキュラム対応表

## 外国語に関する専門的事項【1単位程度を想定】

全体目標: 小学校における外国語活動・外国語の授業実践に必要な実践的な英語運用力と英語に関する背景的な知識を身に付ける。

## 1. 授業実践に必要な英語力と知識

## 1-1) 授業実践に必要な英語力

一般目標: 小学校における外国語活動・外国語科の授業を担当するために必要な実践的な英語運用力を、授業場面を意識しながら身に付ける。

- 到達目標: 1) 授業実践に必要な聞く力を身に付けている。  
 2) 授業実践に必要な話す力[やり取り・発表]を身に付けている。  
 3) 授業実践に必要な読む力を身に付けている。  
 4) 授業実践に必要な書く力を身に付けている。

## 1-2) 英語に関する背景的な知識

一般目標: 小・中学校の接続も踏まえながら、小学校における外国語活動・外国語科の授業を担当するために必要な背景的な知識を身に付ける。

- 到達目標: 1) 英語に関する基本的な事柄(音声、語彙、文構造、文法、正書法等)について理解している。  
 2) 第二言語習得に関する基本的な事柄について理解している。  
 3) 児童文学(絵本、子供向けの歌や詩等)について理解している。  
 4) 異文化理解に関する事柄について理解している。

## &lt;外国語(英語)コアカリキュラムチェック表&gt;

外国語に関する専門的事項	項目	1-(1)				1-(2)				
		到達目標 / 授業回	1)	2)	3)	4)	1)	2)	3)	4)
(授業科 目名及 び番 号の ペ ー ジ 番 回)	初等外国語 (p.37)	第1回					○			
	第2回	○	○			○				
	第3回	○	○			○				
	第4回			○	○	○				
	第5回	○	○					○		
	第6回			○				○		
	第7回				○	○				
	第8回								○	

各到達目標を扱う授業回に○を付すこと。

②外国語(英語)コアカリキュラム対応表

外国語の指導法【2単位程度を想定】

全体目標: 小学校における外国語活動(中学年)・外国語(高学年)の学習、指導、評価に関する基本的な知識や指導技術を身に付ける。

1. 授業実践に必要な知識・理解

1- (1) 小学校外国語教育についての基本的な知識・理解

一般目標: 小学校外国語教育に係る背景知識や主教材、小・中・高等学校の外国語教育における小学校の役割、多様な指導環境について理解する。

- 到達目標: 1) 小学校外国語教育の変遷、小学校の外国語活動や外国語科、中・高等学校の外国語科の目標、内容について理解している。  
 2) 主教材の趣旨、構成、特徴について理解している。  
 3) 小・中・高等学校の連携と小学校の役割について理解している。  
 4) 様々な指導環境に柔軟に対応するため、児童や学校の多様性への対応について、基礎的な事柄を理解している。

1- (2) 子供の第二言語習得についての知識とその活用

一般目標: 児童期の第二言語習得の特徴について理解する。

- 到達目標: 1) 言語使用を通して言語を習得することを理解し、指導に生かすことができる。  
 2) 音声によるインプットの内容の類推から理解へと進むプロセスを経ることを理解し、指導に生かすことができる。  
 3) 児童の発達段階を踏まえた音声によるインプットの在り方を理解し、指導に生かすことができる。  
 4) コミュニケーションの目的や場面、状況に応じて意味のあるやり取りを行う重要性を理解し、指導に生かすことができる。  
 5) 受信から発信、音声から文字へと進むプロセスを理解し、指導に生かすことができる。  
 6) 国語教育との連携による言葉の面白さや豊かさへの気づきについて理解し、指導に生かすことができる。

2. 授業実践

2- (1) 指導技術

一般目標: 実践に必要な基本的な指導技術を身に付ける。

- 到達目標: 1) 児童の発話につながるよう、効果的に英語で語りかけることができる。  
 2) 児童の英語での発話を引き出し、児童とのやり取りを進めることができる。  
 3) 文字言語との合わせ方、読む活動・書く活動への導き方について理解し、指導に生かすことができる。

2- (2) 授業づくり

一般目標: 実際の授業づくりに必要な知識・技術を身に付ける。

- 到達目標: 1) 題材の選定、教材研究の仕方について理解し、適切に題材選定・教材研究ができる。  
 2) 学習到達目標に基づいた指導計画(年間指導計画、単元計画、学習指導案、短時間学習等の授業時間の設定を含めたカリキュラム・マネジメント等)について理解し、学習指導案を立案することができる。  
 3) ALT等とのチーム・ティーチングによる指導の在り方について理解している。  
 4) ICT等の効果的な活用の仕方について理解し、指導に生かすことができる。  
 5) 学習状況の評価(パフォーマンス評価や学習到達目標の活用を含む)について理解している。

<外国語(英語)コアカリキュラムチェック表>

外国語の指導法	項目	1-(1)				1-(2)						2-(1)			2-(2)						
		到達目標 / 授業回	1)	2)	3)	4)	1)	2)	3)	4)	5)	6)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	4)	5)	
(シ 授業 科 目 名 及 び 授 業 番 号 回 ) 初 等 外 国 語 指 導 法 I (p.65-66)	第1回	○		○																	
	第2回	○	○	○																	
	第3回					○	○	○		○											
	第4回				○																
	第5回														○	○					
	第6回															○					○
	第7回		○										○	○		○					
	第8回	○	○	○	○								○	○							
(シ 授 業 科 目 名 及 び 授 業 番 号 回 ) 初 等 外 国 語 指 導 法 II (p.67-68)	第1回	○	○	○	○							○	○	○							
	第2回																		○	○	
	第3回					○	○	○		○										○	○
	第4回											○	○		○	○	○	○	○	○	○
	第5回							○	○	○	○			○							
	第6回											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第7回											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第8回	○	○	○	○											○	○	○	○	○	○

各到達目標を扱う授業回に○を付すこと。

## ②外国語(英語)コアカリキュラム対応表

## 英語学

全体目標: 中学校及び高等学校における外国語科の授業に資する英語学的知見を身に付ける。

- 到達目標: 1) 英語の音声の仕組みについて理解している。  
 2) 英語の文法について理解している。  
 3) 英語の歴史的変遷及び国際共通語としての英語の実態について理解している。

## &lt;外国語(英語)コアカリキュラムチェック表&gt;

英語学		項目			
		到達目標 /授業回	1)	2)	3)
(授業科目名及び授業回 シラバスのページ番号)	英語音声学 (p.728-729)	第1回			○
		第2回	○		
		第3回	○		
		第4回	○		
		第5回	○		
		第6回	○		
		第7回	○		
		第8回	○		
		第9回		○	
		第10回		○	
		第11回		○	
		第12回		○	
		第13回		○	
		第14回		○	
		第15回			○
	英語学 (p.730-731)	第1回	○		
		第2回		○	
		第3回		○	
		第4回		○	
		第5回		○	
		第6回		○	
		第7回		○	
		第8回		○	
		第9回		○	
		第10回		○	
		第11回		○	
		第12回		○	
第13回		○			
第14回		○			
第15回		○			

各到達目標を扱う授業回に○を付すこと。







②外国語(英語)コアカリキュラム対応表

英語科の指導法【8単位程度を想定】

全体目標: 中学校及び高等学校における外国語(英語)の学習・指導に関する知識と授業指導及び学習評価の基礎を身に付ける。

(1)カリキュラム/シラバス

一般目標: 中学校及び高等学校の英語教育の基軸となる学習指導要領及び教科用図書(教科書)について理解するとともに、学習到達目標及び年間指導計画、単元計画、各時間の指導計画について理解する。また、小学校の外国語活動・外国語科の学習指導要領並びに教材、教科書について知るとともに、小・中・高等学校の連携の在り方について理解する。

- 到達目標: 1) 中学校及び高等学校の外国語(英語)の学習指導要領について理解している。  
 2) 中学校及び高等学校の外国語(英語)の教科書について理解している。  
 3) 学習指導要領の「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の3つの資質・能力(以下、「3つの資質・能力」といふ)とともに、領域別の学習到達目標の設定、年間指導計画、単元計画、各授業時間の指導計画について理解している。  
 4) 小学校の外国語活動・外国語科の学習指導要領や教科書等の教材、並びに小・中・高等学校を通した英語教育の在り方の基本について理解している。

(2)生徒の資質・能力を高める指導

一般目標: 中学校及び高等学校における3つの資質・能力を踏まえた「5つの領域」(「聞くこと」「読むこと」「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」及び「書くこと」)の指導及び各領域を支える音声、文字、語彙・表現、文法の指導について基本的な知識と技能を身に付けるとともに、複数の領域を統合した言語活動の指導方法を身に付ける。また、教材や ICT の活用方法を知るとともに、英語による授業展開や ALT等とのチーム・ティーチングの方法について理解する。さらに、生徒の特性や習熟度に応じた指導について理解する。

- 到達目標: 1) 聞くことの指導について理解し、授業指導に生かすことができる。  
 2) 読むことの指導について理解し、授業指導に生かすことができる。  
 3) 話すこと[やり取り・発表]の指導について理解し、授業指導に生かすことができる。  
 4) 書くことの指導について理解し、授業指導に生かすことができる。  
 5) 複数の領域を統合した言語活動の指導について理解し、授業指導に生かすことができる。  
 6) 英語の音声的な特徴に関する指導について理解し、授業指導に生かすことができる。  
 7) 文字の指導について理解し、授業指導に生かすことができる。  
 8) 語彙、表現に関する指導について理解し、授業指導に生かすことができる。  
 9) 文法に関する指導について理解し、授業指導に生かすことができる。  
 10) 異文化理解に関する指導について理解し、授業指導に生かすことができる。  
 11) 教材及びICTの活用について理解し、授業指導に生かすことができる。  
 12) 英語でのインタラクションについて理解し、授業指導に生かすことができる。  
 13) ALT等とのチーム・ティーチングについて理解し、授業指導に生かすことができる。  
 14) 生徒の特性・習熟度への対応について理解し、授業指導に生かすことができる。

(3)授業づくり

一般目標: 中学校及び高等学校の学習到達目標に基づく各学年や科目(高等学校)の年間指導計画・単元計画・各時間の指導計画及び授業の組み立て方について理解するとともに、学習指導案の作成方法を身に付ける。

- 到達目標: 1) 学習到達目標に基づく授業の組立てについて理解し、授業指導に生かすことができる。  
 2) 学習指導案の作成について理解し、授業指導に生かすことができる。

(4)学習評価

一般目標: 中学校及び高等学校における年間を通した学習到達目標に基づく評価の在り方、観点別学習状況の評価に基づく各単元における評価規程の設定、さらに、評定への総括の仕方について理解する。また、言語能力の測定と評価の方法についても併せて理解する。特に、「話すこと[やり取り・発表]」及び「書くこと」については、「パフォーマンス評価」(生徒が実際に話したり書いたりする活動の過程や結果を評価する方法)について理解する。

- 到達目標: 1) 観点別学習状況の評価とそれに基づく評価規程の設定や評定への総括について理解し、指導に生かすことができる。  
 2) 言語能力の測定と評価(パフォーマンス評価等を含む)について理解し、指導に生かすことができる。

(5)第二言語習得

一般目標: 学習者が第二言語・外国語を習得するプロセスについて基礎的な内容を理解し、授業指導に生かすことができる。

- 到達目標: 1) 1) 第二言語習得理論とその活用について理解し、授業指導に生かすことができる。

<外国語(英語)コアカリキュラムチェック表>

英語科の指導法	項目	(1)				(2)														(3)		(4)		(5)				
		到達目標 授業回	1)	2)	3)	4)	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)	11)	12)	13)	14)	1)	2)	1)	2)	1)			
中等英語科指導法 I (シラバス科目名及び授業番号) (p.795-796)	第1回		○	○	○	○																						
	第2回																											
	第3回				○	○																						
	第4回																											
	第5回																											
	第6回																											
	第7回																											
	第8回																											
	第9回																											
	第10回																											
	第11回																											
	第12回																											
	第13回																											
	第14回																											
	第15回																											
中等英語科指導法 II (p.797-798)	第1回		○	○	○	○																						
	第2回																											
	第3回																											
	第4回																											
	第5回																											
	第6回																											
	第7回																											
	第8回																											
	第9回																											
	第10回																											
	第11回																											
	第12回																											
	第13回																											
	第14回																											
	第15回																											
中等英語科指導法 III (シラバス科目名及び授業番号) (p.799-800)	第1回																											
	第2回																											
	第3回																											
	第4回																											
	第5回																											
	第6回																											
	第7回																											
	第8回																											
	第9回																											
	第10回																											
	第11回																											
	第12回																											
	第13回																											
	第14回																											
	第15回																											
中等英語科指導法 IV (p.801-802)	第1回																											
	第2回																											
	第3回																											
	第4回																											
	第5回																											
	第6回																											
	第7回																											
	第8回																											
	第9回																											
	第10回																											
	第11回																											
	第12回																											
	第13回																											
	第14回																											
	第15回																											

各到達目標を扱う授業回に○を付すこと。

